

| 第48期末(2022年12月20日) | |
|--------------------|---------|
| 基準価額 | 14,513円 |
| 純資産総額 | 669百万円 |
| 第48期 | |
| 騰落率 | 9.2% |
| 分配金(税込み)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ピクテ・ ヨーロッパ・オープン

追加型投信/海外/株式

第48期(決算日2022年12月20日)

作成対象期間：2022年6月21日～2022年12月20日

受益者のみなさまへ

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書(全体版)」を選択いただきますと運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・ヨーロッパ・オープン」は、このたび、第48期の決算を行いました。当ファンドは、主に欧州主要国の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

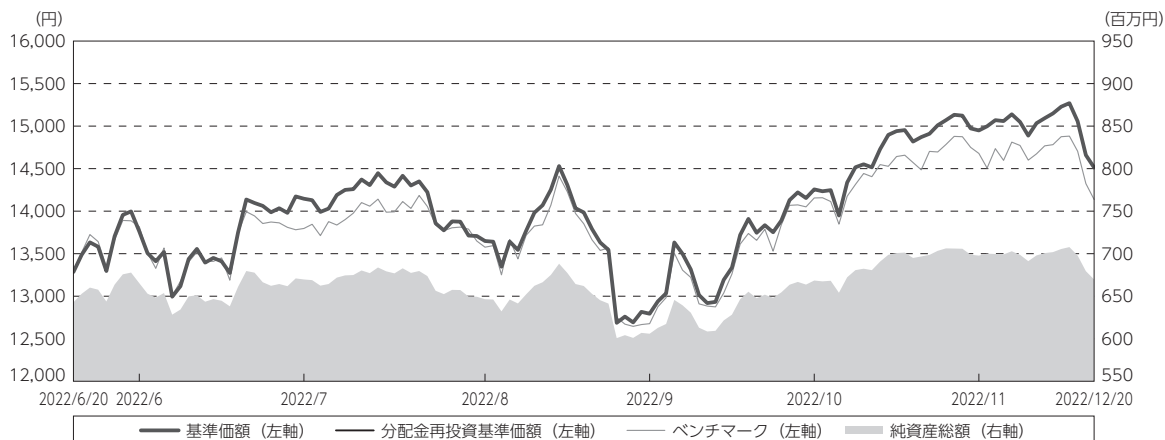
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

運用経過

基準価額等の推移



期 首：13,285円

期 末：14,513円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 9.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年6月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

基準価額の主な変動要因

上昇↑・実質的に組入れている株式の価格が上昇したこと

上昇↑・円に対してスイスフランやユーロなどが上昇したこと

1 万口当たりの費用明細

(2022年6月21日～2022年12月20日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 134 | 0.965 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (65) | (0.469) | ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 |
| (販 売 会 社) | (61) | (0.441) | ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 |
| (受 託 会 社) | (8) | (0.055) | ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 1 | 0.008 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (1) | (0.008) | ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 1 | 0.009 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (1) | (0.009) | ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 | 21 | 0.148 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (16) | (0.113) | ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (4) | (0.028) | ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (1) | (0.007) | ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用 |
| 合 計 | 157 | 1.130 | |
| 期中の平均基準価額は、13,926円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

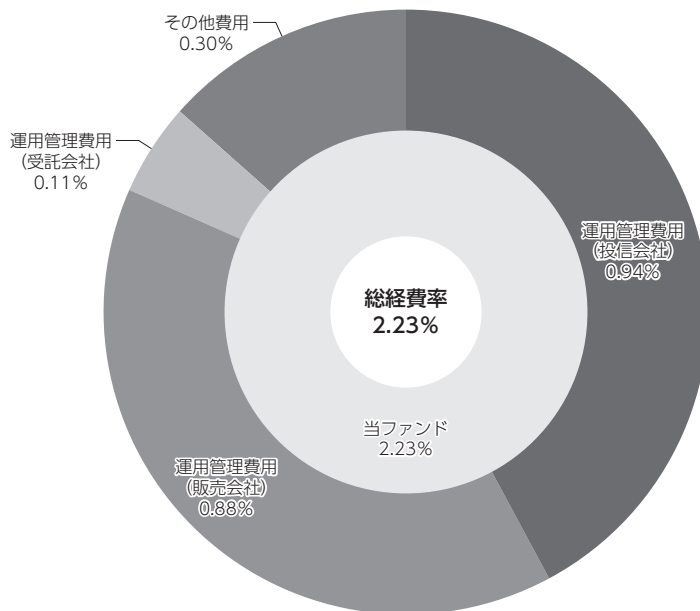
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



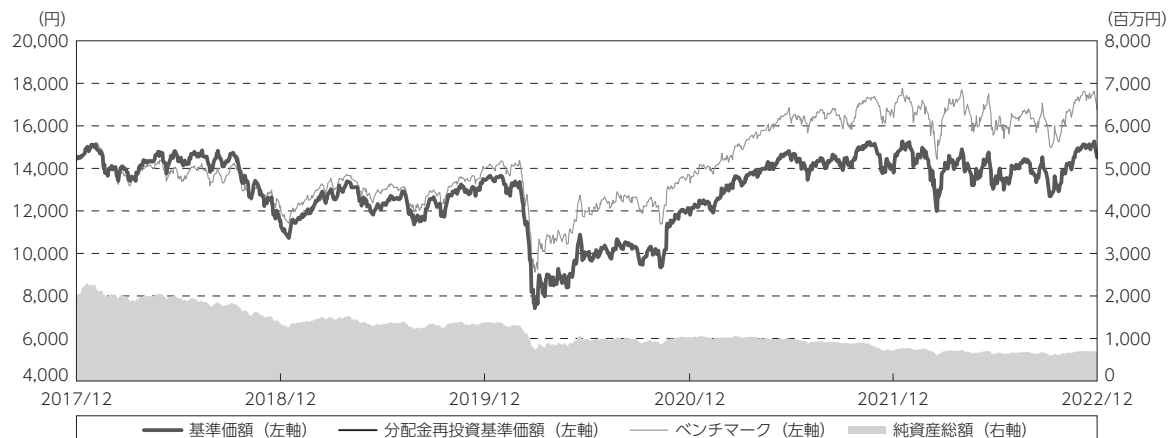
(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2017年12月20日～2022年12月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2017年12月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2017年12月20日 決算日 | 2018年12月20日 決算日 | 2019年12月20日 決算日 | 2020年12月21日 決算日 | 2021年12月20日 決算日 | 2022年12月20日 決算日 |
|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 14,515 | 11,536 | 13,443 | 12,067 | 14,028 | 14,513 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 20.5 | 16.5 | △ 10.2 | 16.3 | 3.5 |
| ベンチマーク騰落率 (%) | — | △ 15.7 | 14.2 | △ 2.1 | 21.2 | 1.0 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,920 | 1,362 | 1,372 | 1,033 | 720 | 669 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
(注) ベンチマークは、MSCI欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

MSCI欧州株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資環境

- ・ 欧州株式市場は、期首から2022年8月中旬にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）による積極的な金融引き締め観測が一時後退したことや、市場予想を上回る企業業績などが好感され上昇しました。8月下旬から9月にかけては、FRBのパウエル議長がインフレ対策を重視し積極的な利上げを継続する姿勢を示したことや、英国トラス前政権の財政政策案発表を背景に、先進国金利の上昇圧力が高まったことなどから大幅に下落しました。その後は期末にかけて、10月の米国消費者物価指数が市場予想を下回り、FRBの金融引き締めペースが鈍化するとの観測が高まったことなどから、米国を中心に株式市場が堅調に推移するなか、欧州についても堅調に推移しました。
- ・ 為替市場では、2022年6月は、欧州中央銀行（ECB）がインフレ対応優先の姿勢として7月から利上げを開始する方針を示した一方、日銀は金融緩和政策を維持したことから、日欧の金利差拡大観測が高まり、円安・ユーロ高が進行しました。7月から8月中旬にかけては、ロシアによる欧州への天然ガス供給停止の懸念が強まり、ユーロ圏諸国の経済指標悪化などが意識されたことなどから、円高・ユーロ安の展開となりました。8月下旬から10月にかけては、ECBが9月の政策理事会において0.75%の大幅利上げを実施し、インフレ抑制に向けて更なる利上げを行う姿勢を明確にしたことなどから、円安・ユーロ高が進行しました。その後は期末にかけて、ユーロ圏のインフレ指標に減速の兆しがみられるなか、ECBによる利上げペースの減速期待が高まったことなどから、円高・ユーロ安が進行しました。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド>

欧州主要国の株式に投資を行いました。

◇国別組入比率（当期末）

| 国名 | 組入比率 |
|--------|-------|
| 英国 | 20.0% |
| スイス | 19.8% |
| フランス | 17.7% |
| オランダ | 15.7% |
| ドイツ | 7.0% |
| イタリア | 5.5% |
| スペイン | 3.5% |
| ベルギー | 3.5% |
| スウェーデン | 3.1% |
| オーストリア | 2.6% |
| その他 | 1.4% |

◇業種別組入比率（当期末）

| 業種名 | 組入比率 |
|----------------|-------|
| 資本財・サービス | 23.1% |
| 金融 | 21.6% |
| 一般消費財・サービス | 15.1% |
| ヘルスケア | 10.8% |
| 生活必需品 | 9.0% |
| 情報技術 | 9.0% |
| コミュニケーション・サービス | 7.0% |
| エネルギー | 4.1% |

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

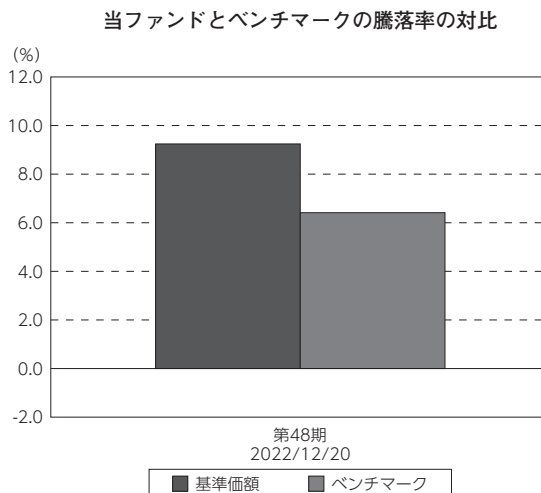
◇組入上位10銘柄（当期末）

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|--------------------|------|-------------|------|
| ネスレ | スイス | 食品 | 5.6% |
| シェル | 英国 | 石油・ガス・消耗燃料 | 4.1% |
| ASMLホールディング | オランダ | 半導体・半導体製造装置 | 4.0% |
| ロシュ・ホールディング | スイス | 医薬品 | 3.9% |
| サフラン | フランス | 航空宇宙・防衛 | 3.6% |
| フィナンシエール・リシュモン | スイス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.6% |
| インフォーマ | 英国 | メディア | 3.5% |
| ユニバーサル・ミュージック・グループ | オランダ | 娯楽 | 3.5% |
| アンハイザー・ブッシュ・インベプ | ベルギー | 飲料 | 3.5% |
| エシロール ルックスオティカ | フランス | ヘルスケア機器・用品 | 3.4% |

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

- ・当期の基準価額は9.2%の上昇となり、ベンチマークの上昇率6.4%を上回りました。
- ・マザーファンドにおいて当期間において上昇したサフラン（フランス、資本財）やエシロール ルックスオティカ（フランス、ヘルスケア機器・サービス）などをベンチマークに対してオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）としていたことなどがプラス要因として寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークは、MSCI 欧州株価指数を委託者が円換算したものです。

分配金

当期の収益分配は見送りとさせていただきます。
 なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

◆分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第48期 |
|-----------|----------------------------|
| | 2022年6月21日～ 2022年12月20日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,554 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(1) 投資環境

欧州経済の冷え込みを示す指標がいくつか発表されるなか、インフレのピークアウトの兆しが徐々にみえてきた一方、今後の状況によってはインフレ率が再び上昇する可能性も考えられます。主要国・地域の中央銀行が金融政策を大幅に変更するには未だ材料不足と考えられ、引き続き株価のボラティリティ(変動率)は高い状況が続くとみています。このような困難な局面において、当ファンドでは、強固なビジネスモデルとキャッシュ創出力を有し、魅力的なバリュエーション(投資価値評価)水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

(2) 投資方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州主要国の株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

<マザーファンド>

主に欧州主要国の株式に投資を行ってまいります。当運用では今後起こりうる市場イベントを予測するのではなく、キャッシュフローの生成能力に優れ、長期的に有益な投資案件を有し、割安な水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

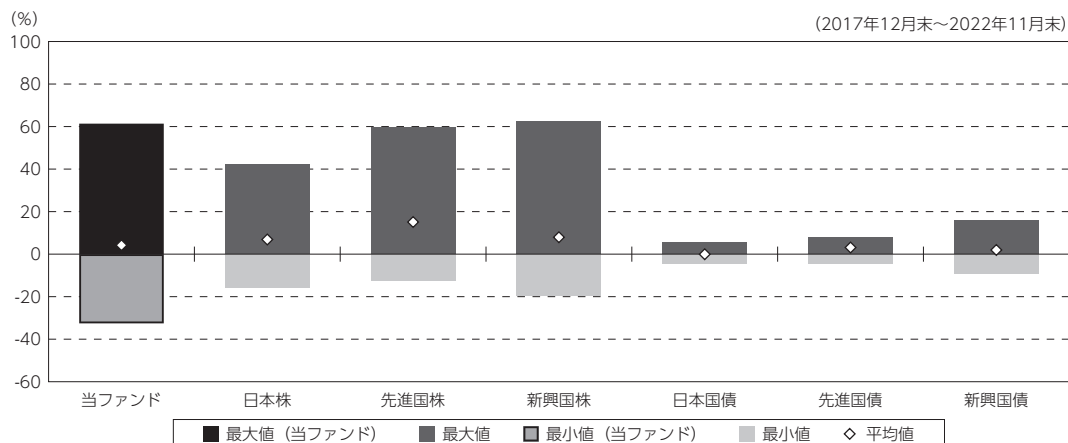
お知らせ

委託者の商号変更に伴い所要の約款変更を行いました。

当該投資信託の概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 1998年12月30日（当初設定日）から無期限です。 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド受益証券 |
| | マザーファンド | 欧州の主要国の株式 |
| 運用方法 | ①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州の主要国の株式に投資します。 ②MSCI欧州株価指数（円ベース）をベンチマークとします。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主な投資制限 | 当ファンド | ①株式への実質投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | ①株式への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 61.4 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 5.4 | 7.9 | 15.7 |
| 最小値 | △ 32.6 | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 4.5 | △ 4.5 | △ 9.4 |
| 平均値 | 4.2 | 6.9 | 15.1 | 7.9 | △ 0.0 | 3.1 | 1.9 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年12月から2022年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA - BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

新興国債 JP モルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2022年12月20日現在)

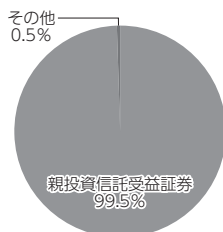
■組入上位ファンド

| 銘 柄 名 | 第48期末 |
|-------------------------|--------|
| ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド | 99.5 % |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

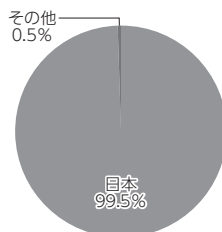
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

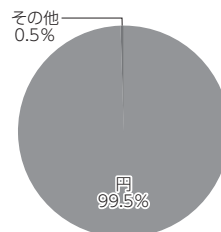
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等（日本・円）を含む場合があります。

純資産等

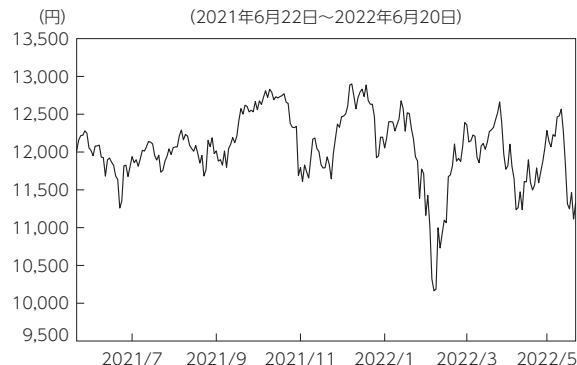
| 項 目 | 第48期末 | |
|-------------|--------------|--|
| | 2022年12月20日 | |
| 純 資 産 総 額 | 669,684,874円 | |
| 受 益 権 総 口 数 | 461,439,830口 | |
| 1万円当たり基準価額 | 14,513円 | |

(注) 当期中における追加設定元本額は3,282,640円、同解約元本額は25,751,373円です。

組入上位ファンドの概要

ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2021年6月22日～2022年6月20日)

| 項 目 | 当 期 | |
|----------------------------|------------|------------------|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 2 (2) | 0.016 (0.016) |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) | 3 (3) | 0.028 (0.028) |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 46 (23) | 0.384 (0.188) |
| (そ の 他) | (24) | (0.196) |
| 合 計 | 51 | 0.428 |

期中の平均基準価額は、12,109円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

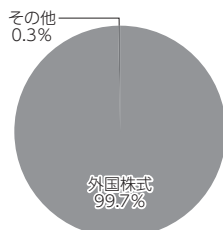
■組入上位10銘柄

(2022年6月20日現在)

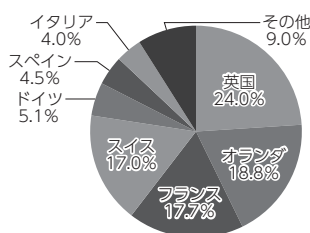
| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------------------------|-------------|--------|-------|------|
| 1 NESTLE SA-REGISTERED | 食品・飲料・タバコ | スイスフラン | スイス | 5.6% |
| 2 ASML HOLDING NV | 半導体・半導体製造装置 | ユーロ | オランダ | 4.0% |
| 3 SHELL PLC-NEW | エネルギー | 英ポンド | 英国 | 3.8% |
| 4 SAFRAN SA | 資本財 | ユーロ | フランス | 3.6% |
| 5 ESSILORLUXOTTICA | 耐久消費財・アパレル | ユーロ | フランス | 3.5% |
| 6 SAP SE | ソフトウェア・サービス | ユーロ | ドイツ | 3.5% |
| 7 COMPASS GROUP PLC | 消費者サービス | 英ポンド | 英国 | 3.5% |
| 8 INFORMA PLC | メディア・娯楽 | 英ポンド | 英国 | 3.5% |
| 9 JULIUS BAER GROUP LTD | 各種金融 | スイスフラン | スイス | 3.4% |
| 10 EXOR NV | 各種金融 | ユーロ | オランダ | 3.4% |
| 組入銘柄数 | | | 38銘柄 | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

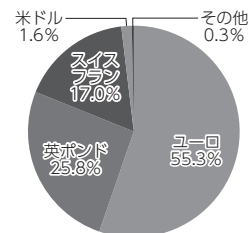
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

指数に関して

○ 「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) :

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) に帰属します。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み) :

MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み) :

MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA – BPI 国債 :

NOMURA – BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■ FTSE 世界国債指数 (除く日本) :

FTSE 世界国債指数 (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド :

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。